

会 議 録

会 議 名	第 9 回 隠岐の島町庁舎建設検討委員会		
日 時	平成 29 年 4 月 18 日 9:00～11:30	場 所	第 1 会議室
出 席 者	【役場】河北大規模事業課長、村上 【アドバイザー】熊谷昌彦		
	【委員】林秀樹、服部俊彦、青戸智、金阪知保、小谷茂雄、木瀬愛、石川昭美、 常角辰夫、長崎好成、吉田十二		
	【梓・ナック JV】難波、東本、安達、蔵本		
【協議内容】			
1. 隠岐の島町新庁舎建設基本計画書の確認			
新庁舎建設基本計画書について、3月23日会議において用語の補足を追記したもので基本計画書として了承を得た。			
今後、庁内で決裁後、決裁日を計画書作成日として公開することを報告した。			
2. 隠岐の島町庁舎建設検討委員会への追加事務依頼			
隠岐の島町庁舎建設検討委員会設置要綱に基づき、町長からの下記事務を依頼され、追加事務について委員は承諾した。			
(1) 住民意見集約のための基本設計受託者が開催するワークショップへの参加			
(2) 基本設計において町が住民意見の集約が必要と判断された事項			
3. 基本設計業務ワークショップ			
梓設計・ナック建築事務所設計共同企業体による基本設計業務のためのワークショップ			
ワークショップテーマ：新庁舎全体の雰囲気・イメージを考えよう（敷地利用について）			
ワークショップに先立ち、基本設計業務の進行状況について以下の報告が梓設計・ナック建築事務所設計共同企業体よりあった。			
(1) 構造体については、鉄骨造、木造、鉄筋コンクリート造について比較検討を行い、鉄筋コンクリート造にて検討を進めている。			
(2) 耐震構造については、経済性、地域性を再度検討した結果、耐震構造にて検討を進めている。			

ワークショップテーマに基づき、A 案（プロポーザル案）と、B 案（南側出入口案）にて配置計画の考え方について梓設計・ナック建築事務所設計共同企業体より説明を行った後、2 班に分かれてワークショップを行った。各班の発表趣旨は以下のとおりである。

《1 班》 1:20:00

- 1) 最終的には A 案が良いのではないかという意見にまとまった。
- 2) B 案の良い点
 - ① 広場が広く確保できている。
 - ② ヘリポート（広場）が広く、災害時の物資搬入が有利である。
 - ③ イベント時の役場内への車の出入りに影響が無い。
- 3) A 案についての意見
 - ① 入り口付近に広場、ロータリーが有り、景観が良い。
 - ② 北西風が心配だが、対策をとれるなら、A 案が良い。
 - ③ バスロータリーから入り口までは屋根が必要。
 - ④ ユニバーサル駐車場には屋根を付けて欲しい
 - ⑤ 町民ホール及びキッズスペースが入り口付近にあり、ふれあいセンターの機能を持ってきたときには A 案が良い。
 - ⑥ 駐車スペースの幅を広くとってもらいたい。
 - ⑦ イベント時、広場が東にあるので、役場への車の出入りがスムーズになるよう対策を検討して欲しい。

《2 班》 1:24:00

- 1) 結論は、どちらが良いという意見にはまとまらなかった。
- 2) A 案についての意見
 - ① 子供の広場を充実した方が良い
 - ② 北西の季節風がすごいので、来庁者の駐車場は庁舎南側に配置した方が良い。
 - ③ ②の為には、庁舎を北側にずらした方が良いのではないか。
- 3) B 案についての意見
 - ① 南側にメインの入り口があるのは良い。
 - ② 南側広場は日常使わないのに、南側の良い場所に大きくとる必要があるのか？
 - ③ バスロータリーから入り口までが遠い。入り口に近い方が良い。
- 4) A,B 案に対しての意見
 - ① 庁舎敷地から東側農道へ通り抜けでき、東側農道の拡幅も必要だ。
 - ② ヘリポートはあまり使わないので、敷地内じゃなくても良いのではないか。
 - ③ 公用車駐車場とバス乗降客との動線が交差しないようにして欲しい。
 - ④ A,B 案優越はつかなかったが、入口は南側が良いという意見が優勢であった。

(難波) 両班の意見を取り入れて配置計画はまとめていきたい。

入口については、北西風を考慮し、もう少し考えたい。

1 班は、広場をイベントなどに使いたいという意見で、2 班は日常使わないのだから大きくなくて良いという意見があったが、その点について意見をまとめられないか？

(青戸) 2 班の意見は、B 案で、広場が来場者駐車場と広場の位置が入れ替わったら良いという意見である。

(服部) イベントはそんなにないので、広場と庁舎の通り抜けの動線はどうにかなるのではないか？

(難波) 言われるように動線が問題である。広場と庁舎の間に来場者用の道路が設置され動線がさえぎられ、これがネックとなる。

(青戸) そこを考えて下さい。

(服部) バスは何便くらいロータリーに止まると考えているか？

(事務局) 隠岐病院が現在バス路線の核となっているが、隠岐病院程度最低 2 台、できれば 3 台は停車できるようにしないといけないと考えている。

西郷 3 号線の改良が完了しないと大幅なバス路線の改良はないと思う。当面は、国道を通るバスが庁舎敷地内に入ってくると想定される。

ワークショップについての講評

(林) A,B 案二つを出されたので、難しい話となったが、みなさんが言っていたのは、北西風への対応と、広場の使い方であったと思う。

1 班は、町民ホールの利用を考えて、A 案のように広場は西側、2 班は、B 案の広場と来場者駐車場を入れ替えて、広場は西側という意見だった。

防災ヘリや広場についてどのくらい使うのかは役場の方で検討して欲しいと思う。

また、災害時、消防団や人々が集まったときにどうするか具体的に考えて欲しい。

A,B 案の良いところを使いながら、人の動線は A 案だが 2 班の意見を取り入れて検討して欲しいというのが委員会の意見ではないでしょうか。

庁舎西側で出入り口を考えながら、二つの班の意見を取り入れて検討して欲しい。

たま、東側農道の拡幅については、農業利用も考え検討して欲しい。

(小谷) A,B 案とも庁舎の位置が東西方向で固定されているが、敷地西側に南北方向に設置できないか？

(難波) 東西軸というのが省エネである。庁舎の面積を考えると南北方向にすれば四角になるが、今回の庁舎規模では難しいので、庁舎位置は東西軸として検討したい。また、北側農地への日照を考慮すると、そんなに北側へ移動することも困難である。他社プロポーザル提案においても東西軸での配置計画であった。

(小谷) 理解しました。

B 案の広場位置に来庁者駐車場を持ってくれば良いのだが、そこへの車動線が難しいですが、来庁者の駐車場利用を考えれば、やはり B 案広場位置が来庁者駐車場とした方がいいのではないか。動線が難しいが検討して欲しい。

(服部) 通り抜けできる駐車場にすれば動線が交差することもないか。

(石川) 風の事を考えないなら、わかりやすく使いやすいのは A 案ではないだろうか。入口が二つあることはムダではないかという意見もあった。

(熊谷) みなさんの意見を聞くと、広場の位置は西側ということでまとまっていると思う。入口については町民ホールをどう使うかによって違ってくると思う。次には町民ホールの使い方と入口をセットにした提案をしていただきたい。

(林) 今日は、いろいろ意見を言いましたが、後は役場と設計者に考えていただきたい。

(事務局) 今回のワークショップの意見を踏まえ、5 月連休明けに、役場と設計者で基本設計協議を行います。

今回の設計協議においては庁舎内のレイアウト計画についても協議する予定です。

その状況により、庁舎建設検討委員会の招集を検討します。

基本的には今回のワークショップの意見を踏まえ 100 点の配置計画は難しいでしょうが、合格点がもらえる配置計画を次回お示ししたい。

また、サイン計画についても 5 月中頃に職員講習会を検討している。その内容を踏まえ庁舎建設検討委員会においてもサインについて伺っていくことになると思うので、早くて 5 月末、6 月初旬になると思う。